

平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

平成17年2月4日



上場会社名 株式会社UFJホールディングス

上場取引所 東・大・名

コード番号 8307

本社所在都道府県 大阪府

(URL <http://www.ufj.co.jp>)

代表者 取締役社長 玉越良介

問合せ先責任者 経営企画部主計室長 竹中豊典

TEL (03) 3212-5111

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

(1)会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 有(別紙ご参照)

(2)最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 無

(3)連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 有

連結(新規) 5社 (除外)11社 持分法(新規) 3社 (除外) 4社

(注)記載の数値等は監査法人による監査を受けておりません。

2. 平成17年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成16年4月1日～平成16年12月31日)

(1)連結経営成績の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	経常収益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成17年3月期第3四半期	1,689,411	(-)	△ 643,333	(-)	△ 385,792	(-)
平成16年3月期第3四半期	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考)平成16年3月期	2,566,680		△ 397,654		△ 402,806	

	1株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
平成17年3月期第3四半期	△ 75,550	90	-	-
平成16年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)平成16年3月期	△ 82,174	75	-	-

(注)前年同四半期の実績及び増減率につきましては、四半期連結財務諸表を作成していないため記載しておりません。

(2)連結財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
平成17年3月期第3四半期	83,910,051	1,270,864	1.5	△ 29,162	66
平成16年3月期第3四半期	-	-	-	-	-
(参考)平成16年3月期	82,134,447	1,665,098	2.0	34,706	92

(注)前年同四半期の実績につきましては、四半期連結財務諸表を作成していないため記載しておりません。

3. 平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

	経常収益	経常利益	当期純利益
通期	百万円	百万円	百万円
	2,300,000	△ 530,000	△ 750,000

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) △145,458円 18銭

(注)平成16年11月24日に公表しました連結業績予想に変更はございません。

○添付資料

四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書など

以 上

(別紙)

■会計処理の方法における簡便な方法の採用

当第3四半期財務情報の作成等に当たっては、中間連結財務諸表等の作成基準に準拠し、投資家等利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で、以下をはじめとし一部簡便な方法を採用しております。

1. 貸倒引当金の計上

- 貸倒引当金につきましては、決算(含む中間)時と同様の自己査定を実施し、それぞれの債権区分に応じて、直前決算期に適用した貸倒実績率等を用い算出しております。
- なお、重要性が高いと考えられる後発事象等につきましては、債権区分や貸倒引当金計上にこれを反映しております。

2. 繰延税金資産の計上

- 繰延税金資産につきましては、直前決算期の残高に、株式等評価差額の当第3四半期中(直近3ヵ月)に生じた増減を反映し計上しております。

平成17年3月期第3四半期決算について

1. 決算の概要

- 平成17年3月期第3四半期(以下、当期)の当社連結決算は、業務粗利益1兆1,539億円、経常損失6,433億円、当期純損失3,857億円となりました。
- 以下、概要につき、主要子銀行合算(注1)計数でご説明いたします。
- 業務粗利益は国債等債券関係損益の減少により前年同期比333億円減少の9,409億円となりましたが、コアとなる業務部門の業績は概ね堅調に推移しております。
- 経費につきましては、賞与の大幅カット実施を主因に、4,045億円と前年同期比237億円減少しました。
- この結果、実質業務純益は前年同期比96億円減少の5,363億円、国債等債券関係損益を除いた実質業務純益は前年同期比199億円増加し、4,555億円となりました。
- 経常利益は8,141億円の損失計上となりましたが、主たる要因は以下の2点です。
まず、債務者の事業再生等支援の過程で引き受けた優先株式の減損により、2,242億円の株式関係損失を計上しました。
次に、大口債務者の抜本的な事業再生等支援に向けて引当の必要が生じたこと、債権売却等のオフバランス化を推進したことなどにより、1兆228億円の不良債権処理額(信託勘定等を含む)を計上しました。
- なお、大口債務者の事業再生等支援が具体的に決定したことを受け、当期において、これら債務者に対する個別貸倒引当金を特定債務者支援引当金に振り替えております。これを主因とし、貸倒引当金(注2)総額として戻入れが発生することから、5,562億円の貸倒引当金戻入益を特別利益として計上しております。
- この結果、法人税等調整額等を加減した当期純利益は4,324億円の損失計上となりました。
- なお、与信関連費用(不良債権処理額、信託勘定不良債権処理額等、償却債権取立益、貸倒引当金戻入額等の合計額)は4,564億円となりました、不良債権問題につきましては下記をご参照下さい。
- 当期末の自己資本比率は、当社連結で10.70%、UFJ銀行連結で10.82%、UFJ信託銀行連結で10.84%(いずれも概算値)となっております。

(注1)子銀行合算:当社の子会社であるUFJ銀行とUFJ信託銀行(いずれも分離子会社を含む)のそれぞれの単体計数を合算したものを指します。

(注2)貸倒引当金:一般貸倒引当金、個別貸倒引当金および特定海外債権引当勘定のことを指します。
これらの総額が戻入れとなった場合は、会計処理上、当該金額を特別利益に計上することになっております。

2. 不良債権問題

(金融再生法開示債権の状況)

- 当グループでは、不良債権問題の決着を経営の最重要課題のひとつとしており、この解決に当たっては、これまでに、債務者の早期正常化に向けた事業再生等の対応を積極的に進めてまいりました。
- この成果として、特に問題となっていた大口債務者の多くについては、事業再生支援策が確定しております。さらに、これら支援策のうち、いくつかについては既に実行され、オフバランス化やこれまで危険債権や要管理債権に区分されていた債権につき、その他要注意先債権等への格上げを実施しました。
- このため、当期の不良債権額は子銀行合算で約2兆9,000億円となり、当中間期末比約1兆2,000億円の減少となりました。
- また、これに伴い、不良債権比率も6.86%と当中間期末比2.56ポイント低下しました。
- 不良債権問題につきましては、今年度中の解決を目指すという方針のもと、さらなる残高圧縮・比率低減のため、今後も引き続き、尽力してまいります。

(与信関連費用の状況)

- 事業再生等支援の実行や具体的な決定に伴い、これら債務者に対する貸倒引当金の戻入れなどが発生し、当期の与信関連費用は当中間期比1,576億円減少しております。しかしながら、不良債権問題決着に向け積極的な対応策を講じたことに伴い、貸倒引当金算定の基礎となる貸倒実績率が一時的に上昇する等の要因により、年度末にかけては与信関連費用の増加を見込んでいます。

3. 業績の見通し

- 上記の通り、当グループの経営の最重要課題のひとつである不良債権問題の決着は着実に進行中であり、当初目標である今年度末の不良債権比率3%台の達成も十分に視野に入っております。
- 業績面におきましても、業務純益が堅実に積み上がっている現状を踏まえ、昨年11月に公表いたしました今年度業績予想については以下のまま変更はございません。

[連結業績予想]	連結経常損失	:	5,300億円
	連結当期純損失	:	7,500億円

四半期連結貸借対照表

株式会社 U F J ホールディングス

(単位：百万円)

科 目	平成 16 年 第 3 四半期末 (A)	平成 15 年 第 3 四半期末 (B)	比 較 (A) - (B)	平成 15 年度末 (要 約) (C)	比 較 (A) - (C)
(資 産 の 部)					
現 金 預 け 金	8,822,014			4,476,660	4,345,354
コールローン及び買入手形	314,180			292,119	22,060
買 現 先 勘 定	875,928			632,784	243,143
債券貸借取引支払保証金	2,680,692			2,269,420	411,272
買 入 金 銭 債 権	364,309			304,500	59,808
特 定 取 引 資 産	5,374,794			2,792,948	2,581,846
金 銭 の 信 託	74,857			132,524	57,666
有 価 証 券	19,350,085			22,025,991	2,675,906
貸 出 金	38,695,080			42,462,644	3,767,564
外 国 為 替	643,504			613,382	30,121
そ の 他 資 産	2,329,444			2,753,638	424,194
動 産 不 動 産	653,087			678,113	25,025
繰 延 税 金 資 産	1,228,158			1,413,766	185,607
連 結 調 整 勘 定	4,614			9,229	4,614
支 払 承 諾 見 返	3,757,465			3,398,200	359,264
貸 倒 引 当 金	1,241,743			2,120,260	878,516
投 資 損 失 引 当 金	16,422			1,217	15,205
資 産 の 部 合 計	83,910,051			82,134,447	1,775,604
(負 債 の 部)					
預 金	49,732,045			52,975,742	3,243,696
譲 渡 性 預 金	4,791,365			5,514,401	723,035
コールマネー及び売渡手形	6,875,789			4,863,792	2,011,997
売 現 先 勘 定	1,952,873			669,520	1,283,353
債券貸借取引受入担保金	2,865,948			1,764,098	1,101,850
コマーシャル・ペーパー	126,411			297,079	170,668
特 定 取 引 負 債	2,838,073			2,167,596	670,476
借 用 金	1,592,410			1,495,260	97,149
外 国 為 替	167,921			187,987	20,066
短 期 社 債	220,600			70,000	150,600
社 債	2,640,102			2,686,367	46,265
信 託 勘 定 借 借	1,434,955			1,754,077	319,122
そ の 他 負 債	1,510,812			1,668,144	157,332
賞 与 引 当 金	3,318			17,016	13,697
退 職 給 付 引 当 金	13,096			14,354	1,257
特定債務者支援引当金	480,511			5,057	475,453
補償請求権損失引当金	15,410			-	15,410
特別法上の引当金	339			295	43
繰 延 税 金 負 債	21,488			17,985	3,502
再評価に係る繰延税金負債	75,393			76,958	1,564
支 払 承 諾	3,757,465			3,398,200	359,264
負 債 の 部 合 計	81,116,332			79,643,938	1,472,394
(少 数 株 主 持 分)					
少 数 株 主 持 分	1,522,854			825,410	697,443
(資 本 の 部)					
資 本 金	1,000,000			1,000,000	-
資 本 剰 余 金	1,233,738			1,233,725	13
利 益 剰 余 金	1,156,884			760,566	396,317
土 地 再 評 価 差 額 金	110,800			112,964	2,163
株 式 等 評 価 差 額 金	163,608			172,640	9,031
為 替 換 算 調 整 勘 定	77,923			91,434	13,511
自 己 株 式	2,475			2,231	244
資 本 の 部 合 計	1,270,864			1,665,098	394,233
負債、少数株主持分及び資本の部合計	83,910,051			82,134,447	1,775,604

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

株式会社 UFJホールディングス

(単位：百万円)

科 目	平成 16 年 第 3 四半期 (A)	平成 15 年 第 3 四半期 (B)	比 較 (A) - (B)	平成 15 年度 (要 約)
経 常 収 益	1,689,411			2,566,680
資 金 運 用 収 益	746,867			1,027,517
(うち貸出金利息)	(546,450)			(767,989)
(うち有価証券利息配当金)	(148,200)			(174,723)
信 託 報 酬	30,839			49,408
役 務 取 引 等 収 益	353,138			454,711
特 定 取 引 収 益	63,726			188,019
そ の 他 業 務 収 益	329,024			492,556
そ の 他 経 常 収 益	165,814			354,468
経 常 費 用	2,332,745			2,964,335
資 金 調 達 費 用	151,798			202,504
(うち預金利息)	(54,814)			(69,574)
役 務 取 引 等 費 用	55,662			66,914
そ の 他 業 務 費 用	165,845			334,458
営 業 経 費	546,660			773,036
そ の 他 経 常 費 用	1,412,777			1,587,420
経 常 利 益	643,333			397,654
特 別 利 益	542,010			123,230
特 別 損 失	33,346			57,321
税金等調整前四半期(当期)純利益	134,669			331,745
法人税、住民税及び事業税	9,411			14,127
法人税等調整額	226,904			36,929
少数株主利益	14,807			20,003
四半期(当期)純利益	385,792			402,806

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結剰余金計算書

株式会社 U F J ホールディングス

(単位：百万円)

科 目	平成 16 年 第 3 四半期 (A)	平成 15 年 第 3 四半期 (B)	比 較 (A) - (B)	平成 15 年 度
(資 本 剰 余 金 の 部)				
資 本 剰 余 金 期 首 残 高	1,233,725			1,233,702
資 本 剰 余 金 増 加 高	13			23
自 己 株 式 処 分 差 益	13			23
資 本 剰 余 金 第 3 四 半 期 末 (期 末) 残 高	1,233,738			1,233,725
(利 益 剰 余 金 の 部)				
利 益 剰 余 金 期 首 残 高	760,566			359,380
利 益 剰 余 金 増 加 高	2,338			8,651
土地再評価差額金取崩に伴う利益剰余金増加高	2,338			8,651
利 益 剰 余 金 減 少 高	398,656			409,837
配 当 金	12,861			7,028
役 員 賞 与	2			2
四 半 期 (当 期) 純 損 失	385,792			402,806
利 益 剰 余 金 第 3 四 半 期 末 (期 末) 残 高	1,156,884			760,566

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

UFJホールディングス 四半期財務情報(補足資料)

【目次】

株式会社UFJホールディングス

1．平成17年3月期第3四半期の損益状況（連結）	・・・ 1
2．平成17年3月期第3四半期の損益状況（子銀行合算）	・・・ 2
3．金融再生法開示基準債権額（子銀行合算）	・・・ 3
4．自己資本比率（連結・第一基準）	・・・ 3
5．時価のある有価証券の評価差額（子銀行合算）	・・・ 4
6．国内預金・国内貸出金の状況（子銀行合算）	・・・ 4

（注）子銀行合算とは株式会社UFJ銀行単体合算（含む2分離子会社）とUFJ信託銀行株式会社単体合算（含む分離子会社）の合算を指す

株式会社UFJ銀行

1．平成17年3月期第3四半期の損益状況（単体合算）	・・・ 5
2．金融再生法開示基準債権額（単体合算）	・・・ 6
3．自己資本比率（連結・国際統一基準）	・・・ 6
4．時価のある有価証券の評価差額（単体合算）	・・・ 7
5．国内預金・国内貸出金の状況（単体合算）	・・・ 8

（注）単体合算とは株式会社UFJ銀行と2分離子会社（UFJストラテジックパートナー株式会社及び株式会社UFJエクイティインベストメンツ）のそれぞれの単体計数の合算を指す

UFJ信託銀行株式会社

1．平成17年3月期第3四半期の損益状況（単体合算）	・・・ 9
2．金融再生法開示基準債権額（単体）	・・・ 10
3．自己資本比率（連結・国内基準）	・・・ 10
4．時価のある有価証券の評価差額（単体合算）	・・・ 11
5．国内預金・国内貸出金の状況（単体）	・・・ 11
6．信託財産残高表（単体）	・・・ 12

（注）単体合算とはUFJ信託銀行株式会社と分離子会社（UFJトラストエクイティ株式会社）のそれぞれの単体計数の合算を指す

【UFJホールディングス】(連結)

1. 平成17年3月期第3四半期の損益状況(平成16年4月1日~平成16年12月31日)

(億円)

		平成16年第3四半期	平成15年第3四半期	増 減	(参考)平成15年度
業 務 粗 利 益	1	11,539			16,252
資金利益	2	5,950			8,250
信託報酬(償却前)	3	345			663
役務取引等利益	4	2,974			3,877
特定取引利益	5	637			1,880
その他業務利益	6	1,631			1,580
営 業 経 費 ()	7	5,466			7,730
一般貸倒引当金繰入額 ()	8	-			2,800
臨 時 収 支	9	12,506			9,698
うち株式関係損益	10	1,582			2,391
うち不良債権処理額	11	10,244			11,343
うち信託勘定不良債権処理額	12	36			169
うち元本補てん等	13	30			-
うち投資損失引当金繰入額	14	155			-
うち持分法による投資損益	15	26			78
経 常 利 益	16	6,433			3,976
特 別 損 益	17	5,086			659
うち償却債権取立益	18	353			549
うち貸倒引当金戻入額(一般・個別・特海債)	19	4,668			-
うち債権売却損失引当金戻入額	20	-			2
うち退職給付信託解約益	21	383			-
税 引 前 当 期 純 利 益	22	1,346			3,317
法人税、住民税及び事業税 ()	23	94			141
法人税等調整額 ()	24	2,269			369
少数株主利益 ()	25	148			200
当 期 純 利 益	26	3,857			4,028
与信関連費用 (=8+11+12+13+18+19+20)	27	5,289			13,760

(注) 1. 平成15年第3四半期は財務諸表を作成していないため、記載しておりません。

2. 平成16年第3四半期は貸倒引当金(一般・個別・特海債の合計)繰入額が戻入益となりましたので、特別利益に計上しております(19行目)

3. 平成15年度は債権売却損失引当金繰入額が戻入益となりましたので、特別利益に計上しております(20行目)

【UFJホールディングス】(子銀行合算)

2. 平成17年3月期第3四半期の損益状況(平成16年4月1日～平成16年12月31日)

(億円)

		平成16年第3四半期	平成15年第3四半期	増減	(参考)平成15年度
業務粗利益	1	9,409	9,742	333	13,623
資金利益	2	5,369			7,802
信託報酬(償却前)	3	346			666
役務取引等利益	4	1,717			2,204
特定取引利益	5	397			1,466
その他業務利益	6	1,578			1,484
経費(除く臨時処理分)()	7	4,045	4,282	237	5,677
実質業務純益	8	5,363	5,460	96	7,946
除く国債等債券関係損益	9	4,555	4,356	199	6,733
一般貸倒引当金繰入額()	10	211			3,423
業務純益	11	5,152			4,522
うち国債等債券関係損益	12	808			1,213
臨時収支	13	13,294			8,794
うち株式関係損益	14	2,242			3,275
株式等売却益	15	1,765			3,977
株式等売却損	16	205			577
株式等償却	17	3,801			124
うち不良債権処理額	18	10,192			10,319
うち信託勘定不良債権処理額	19	36			169
うち元本補てん等	20	30			-
うち投資損失引当金繰入額	21	153			519
うち補償請求権損失引当金繰入額	22	154			-
経常利益	23	8,141	1,345	9,487	4,272
特別損益	24	6,016			905
うち償却債権取立益	25	342			537
うち貸倒引当金戻入額(一般・個別・特海債)	26	5,562			256
うち債権売却損失引当金戻入額	27	-			2
うち退職給付信託解約益	28	383			-
税引前当期純利益	29	2,125			3,366
法人税、住民税及び事業税()	30	9			35
法人税等調整額()	31	2,189			353
当期純利益	32	4,324	2,513	6,838	3,755

与信関連費用(= 10+18+19+20+25+26+27)	33	4,564	2,661	1,903	13,115
----------------------------------	----	-------	-------	-------	--------

(注) 1. 平成16年第3四半期は、UFJ銀行において貸倒引当金(一般・個別・特海債の合計)繰入額が戻入益となりましたので、特別利益に計上しております(26行目)

2. 平成15年度は、UFJ信託銀行において貸倒引当金(一般・個別・特海債の合計)繰入額が、UFJ銀行において債権売却損失引当金繰入額がそれぞれ戻入益となりましたので、特別利益に計上しております(26行目及び27行目)

3. 金融再生法開示基準債権額（子銀行合算）

(単位：億円)

		平成16年12月末	平成16年9月末	平成15年12月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1	2,595	2,595	3,654
危険債権	2	21,960	32,709	8,899
要管理債権	3	4,880	6,238	21,198
合計	4	29,435	41,543	33,752

(注) 1. 平成16年12月末および平成15年12月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しています。集計方法については、それぞれの月末基準の自己査定結果を全て反映したものであり、決算(含む中間)時に開示する計数と同じです。

なお、上記債権は、取立不能見込額につき直接償却相当額を減額した後の残高を記載しています。

2. 債権額については、銀行と分離子会社間の内部取引調整後の残高を記載しています。

3. 上記以外の債権額は以下の通りです。

(単位：億円)

		平成16年12月末	平成16年9月末	平成15年12月末
要管理先債権(3を含む)	5	5,925	7,577	28,813
その他要注意先債権	6	22,588	19,552	36,475
正常先債権	7	375,582	378,201	374,267
総与信額(=1+2+5+6+7)	8	428,652	440,636	452,109
不良債権比率(=4/8)	9	6.86%	9.42%	7.46%

4. 自己資本比率(連結・第一基準)

(単位：億円)

		平成16年12月末 (概算値)	平成16年9月末	平成17年3月末 (予想値)
(1)自己資本比率	10	10.70%	9.92%	9%台前半
(2)Tier	11	25,089	22,039	
(3)Tier(算入額)	12	22,930	21,591	
(4)控除項目	13	770	748	
(5)自己資本(2)+(3)-(4)	14	47,250	42,882	
(6)リスク・アセット等	15	441,384	432,077	

5. 時価のある有価証券の評価差額（子銀行合算）

（単位：億円）

		平成16年12月末				平成16年9月末				平成15年12月末			
		時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
			うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	1	158,156	1,855	3,745	1,890	164,349	1,891	3,908	2,016	197,807	2,546	5,174	2,627
株式	2	17,937	2,534	3,200	665	18,275	2,833	3,455	622	24,272	3,007	4,277	1,270
債券	3	110,746	622	83	705	114,849	691	133	825	152,088	607	495	1,102
その他	4	29,473	56	461	518	31,224	249	318	568	21,445	146	400	254

- （注） 1. 平成16年12月末および平成15年12月末の「評価差額」および「含み損益」（下記）は、それぞれの月末時点の帳簿価額（償却原価法勘案後、減損相当額控除後）と時価との差額を計上しています。（株式の時価は主として(四半)期末前1カ月の市場価格の平均に基づいて算定された額を、また、それ以外については、(四半)期末日における市場価格等に基づく額を使用しています）
2. 有価証券のほか、譲渡性預け金および商品ファンド等も含めています。
3. なお、時価のある子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりです。（時価のある満期保有目的の債券は保有しておりません）

（単位：億円）

		平成16年12月末				平成16年9月末				平成15年12月末			
		帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
			うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
子会社・関連会社株式	5	1,377	136	45	182	1,377	144	38	182	2,720	577	703	125

6. 国内預金・国内貸出金の状況（子銀行合算）

（単位：億円）

		平成16年12月末	平成16年9月末	平成15年12月末
国内個人預金	6	263,243	260,609	271,135
うち流動性預金	7	150,808	145,852	150,579
うち定期性預金	8	107,766	110,148	115,832
国内法人預金	9	172,291	174,245	176,131
うち流動性預金	10	124,564	123,189	123,545
うち定期性預金	11	40,449	41,441	40,623
国内その他預金	12	21,560	31,334	30,334
うち流動性預金	13	13,506	17,229	14,436
うち定期性預金	14	3,343	4,024	3,274
信託元本	15	18,580	20,977	20,179
うち国内個人	16	7,475	7,817	9,208
うち国内法人	17	11,104	13,160	10,970
国内貸出金	18	363,958	372,120	389,156
銀行勘定	19	358,114	365,994	381,090
信託勘定	20	5,844	6,126	8,066

- （注） 1. 上記計数は日銀報告ベースで算出（除く海外、オフショア勘定分）しています。
2. 国内その他預金には、地方公共団体等の公金預金や金融機関預金が含まれます。
3. 流動性預金 = 当座預金 + 普通預金 + 貯蓄預金 + 通知預金
定期性預金 = 定期預金 + 定期積金
4. 「信託元本」および「国内貸出金」のうち「信託勘定」は、元本補てん契約のある合同運用指定金銭信託および貸付信託の合算です。

【UFJ銀行】

1. 平成17年3月期第3四半期の損益状況(平成16年4月1日～平成16年12月31日)(単体合算) (億円)

		平成16年第3四半期	平成15年第3四半期	増減	(参考)平成15年度
業務粗利益	1	8,401	8,691	290	11,982
資金利益	2	5,137			7,413
役務取引等利益	3	1,335			1,719
特定取引利益	4	390			1,436
その他業務利益	5	1,537			1,413
経費(除く臨時処理分)()	6	3,499	3,694	195	4,900
実質業務純益	7	4,902	4,996	94	7,081
除く国債等債券関係損益	8	4,137	3,947	189	5,949
一般貸倒引当金繰入額()	9	-			3,423
業務純益	10	4,902			3,658
うち国債等債券関係損益	11	764			1,132
臨時収支	12	12,561			8,247
うち株式関係損益	13	2,288			3,052
株式等売却益	14	1,646			3,528
株式等売却損	15	192			372
株式等償却	16	3,742			103
うち不良債権処理額	17	9,680			9,831
うち投資損失引当金繰入額	18	149			519
経常利益	19	7,659	1,532	9,192	4,588
特別損益	20	6,041			700
うち償却債権取立益	21	339			513
うち貸倒引当金戻入額(一般・個別・特海債)	22	5,562			-
うち債権売却損失引当金戻入額	23	-			2
うち退職給付信託解約益	24	383			-
税引前当期純利益	25	1,617			3,888
法人税、住民税及び事業税()	26	9			34
法人税等調整額()	27	1,780			164
当期純利益	28	3,407	2,229	5,637	4,088
与信関連費用(= 9+17+21+22+23)	29	3,778	2,531	1,246	12,739

(注) 1. 平成16年第3四半期は、貸倒引当金(一般・個別・特海債の合計)繰入額が戻入益となりましたので、特別利益に計上しております(22行目)

2. 平成15年度は、債権売却損失引当金繰入額が戻入益となりましたので、特別利益に計上しております(23行目)

2. 金融再生法開示基準債権額

(単位：億円)

		平成16年12月末		平成16年9月末		平成15年12月末	
			うちUFJ銀行		うちUFJ銀行		うちUFJ銀行
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1	2,224	2,199	2,350	2,180	3,040	2,549
危険債権	2	21,635	21,488	29,991	29,824	8,574	8,038
要管理債権	3	4,618	4,534	5,711	5,621	18,067	17,787
合計	4	28,478	28,222	38,053	37,627	29,682	28,376

(注) 1. 平成16年12月末および平成15年12月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の категорияにより分類しています。集計方法については、それぞれの月末基準の自己査定結果を全て反映したものであり、決算(含む中間)時に開示する計数と同じです。

なお、上記債権は、取立不能見込額につき直接償却相当額を減額した後の残高を記載しています。

2. 分離子会社合算の債権は、銀行と分離子会社間の内部取引調整後の残高を記載しています。

3. 上記以外の債権額は以下の通りです。

(単位：億円)

		平成16年12月末		平成16年9月末		平成15年12月末	
			うちUFJ銀行		うちUFJ銀行		うちUFJ銀行
要管理先債権(3を含む)	5	5,624	5,531	7,009	6,912	25,328	25,004
その他要注意先債権	6	19,398	19,358	16,469	16,429	31,625	31,579
正常先債権	7	348,636	348,581	348,440	348,378	344,368	344,366
総与信額(=1+2+5+6+7)	8	397,518	397,159	404,262	403,725	412,938	411,539
不良債権比率(=4/8)	9	7.16%	7.10%	9.41%	9.31%	7.18%	6.89%

3. 自己資本比率(連結・国際統一基準)

(単位：億円)

		平成16年12月末 (概算値)	平成16年9月末	平成17年3月末 (予想値)
(1)自己資本比率	10	10.82%	10.03%	9%前後
(2)Tier	11	22,969	20,211	
(3)Tier(算入額)	12	21,432	20,068	
(4)控除項目	13	733	705	
(5)自己資本(2)+(3)-(4)	14	43,667	39,574	
(6)リスク・アセット等	15	403,478	394,191	

4. 時価のある有価証券の評価差額

(単位：億円)

		平成16年12月末				平成16年9月末				平成15年12月末			
		時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
			うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	1	139,434	1,785	3,211	1,426	144,609	1,842	3,328	1,485	179,202	2,862	4,601	1,739
株式	2	14,482	2,266	2,700	433	14,727	2,489	2,909	419	20,174	2,942	3,723	780
債券	3	96,874	534	56	591	100,009	572	104	677	138,517	375	490	866
その他	4	28,077	53	454	401	29,872	74	314	389	20,511	295	387	92

- (注) 1. 平成16年12月末および平成15年12月末の「評価差額」および「含み損益」(下記)は、それぞれの月末時点の帳簿価額(償却原価法勘案後、減損相当額控除後)と時価との差額を計上しています。(株式の時価は主として(四半)期末前1ヵ月の市場価格の平均に基づいて算定された額を、また、それ以外については、(四半)期末日における市場価格等に基づく額を使用しています)
2. 有価証券のほか、譲渡性預け金および商品ファンド等も含めています。
3. なお、時価のある子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりです。(時価のある満期保有目的の債券は保有しておりません)

(単位：億円)

		平成16年12月末				平成16年9月末				平成15年12月末			
		帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
			うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
子会社・関連会社株式	5	1,377	136	45	182	1,377	144	38	182	2,720	577	703	125

【うちUFJ銀行】

(単位：億円)

		平成16年12月末				平成16年9月末				平成15年12月末			
		時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
			うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	6	135,202	1,344	2,742	1,397	140,351	1,351	2,817	1,465	175,518	2,419	4,123	1,704
株式	7	10,254	1,826	2,230	404	10,474	1,998	2,397	399	16,498	2,499	3,245	745
債券	8	96,869	534	56	591	100,004	572	104	677	138,509	375	490	866
その他	9	28,077	53	454	401	29,872	74	314	389	20,511	295	387	92

- (注) 1. 平成16年12月末および平成15年12月末の「評価差額」および「含み損益」(下記)は、それぞれの月末時点の帳簿価額(償却原価法勘案後、減損相当額控除後)と時価との差額を計上しています。(株式の時価は主として(四半)期末前1ヵ月の市場価格の平均に基づいて算定された額を、また、それ以外については、(四半)期末日における市場価格等に基づく額を使用しています)
2. 有価証券のほか、譲渡性預け金および商品ファンド等も含めています。
3. なお、時価のある子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりです。(時価のある満期保有目的の債券は保有しておりません)

(単位：億円)

		平成16年12月末				平成16年9月末				平成15年12月末			
		帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
			うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
子会社・関連会社株式	10	1,377	136	45	182	1,377	144	38	182	2,720	577	703	125

5. 国内預金・国内貸出金の状況

(単位：億円)

		平成16年12月末	平成16年9月末	平成15年12月末
国内個人預金	1	243,559	240,189	249,341
うち流動性預金	2	146,944	142,027	146,759
うち定期性預金	3	92,041	93,660	97,938
国内法人預金	4	164,709	165,975	162,395
うち流動性預金	5	121,390	118,981	118,682
うち定期性預金	6	36,140	37,486	35,817
国内その他預金	7	20,710	29,915	29,686
うち流動性預金	8	13,435	17,191	14,307
うち定期性預金	9	2,583	3,176	2,779
国内貸出金	10	333,588	336,583	351,279
うちUFJ銀行	11	333,113	336,047	349,888

- (注) 1. 上記計数は日銀報告ベースで算出(除く海外、オフショア勘定分)しています。
 2. 国内その他預金には、地方公共団体等の公金預金や金融機関預金が含まれます。
 3. 流動性預金 = 当座預金 + 普通預金 + 貯蓄預金 + 通知預金
 定期性預金 = 定期預金 + 定期積金

【U F J 信託銀行】

1. 平成17年3月期第3四半期の損益状況(平成16年4月1日～平成16年12月31日)(単体合算) (億円)

		平成16年第3四半期	平成15年第3四半期	増 減	(参考)平成15年度
業 務 粗 利 益 (信託勘定償却前)	1	1,007	1,051	43	1,641
信託報酬(償却前)	2	346			666
資金利益	3	232			388
役務取引等利益	4	381			484
特定取引利益	5	6			30
その他業務利益	6	41			71
経 費(除く臨時処理分)()	7	546	587	41	776
実 質 業 務 純 益	8	461	463	1	864
除く 国債等債券関係損益	9	418	408	9	783
一般貸倒引当金繰入額()	10	211			-
業 務 純 益 (信託勘定償却前)	11	250			864
うち 国債等債券関係損益	12	43			80
臨 時 収 支	13	732			547
うち 株式関係損益	14	46			223
株式等売却益	15	118			449
株式等売却損	16	13			205
株式等償却	17	59			21
うち 銀行勘定不良債権処理額	18	512			487
うち 信託勘定不良債権処理額	19	36			169
うち 元本補てん等	20	30			-
うち 投資損失引当金繰入額	21	3			0
うち 補償請求権損失引当金繰入額	22	154			-
経 常 利 益	23	482	187	294	316
特 別 損 益	24	25			205
うち 償却債権取立益	25	3			24
うち 貸倒引当金戻入額(一般・個別・特海債)	26	-			256
税 引 前 当 期 純 利 益	27	508			521
法人税、住民税及び事業税()	28	0			0
法人税等調整額()	29	409			188
当 期 純 利 益	30	917	283	1,201	332
与信関連費用(= 10+18+19+20+25+26)	31	786	129	656	376

- (注) 1. 実質業務純益は、信託勘定不良債権処理額および一般貸倒引当金繰入額考慮前の計数を記載しています。
2. 信託の決算日が9月・3月に集中しており、第1・第3四半期の信託報酬(償却前)および実質業務純益は、第2・第4四半期に比べ少額になります。
3. 平成15年度は、貸倒引当金(一般・個別・特海債の合計)繰入額が戻入益となりましたので、特別利益に計上しております(26行目)

2. 金融再生法開示基準債権額（単体）

（単位：億円）

		平成16年12月末	平成16年9月末	平成15年12月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	銀行勘定	1	304	164
	信託勘定	2	67	79
		3	371	244
危険債権	銀行勘定	4	249	2,627
	信託勘定	5	75	90
		6	324	2,717
要管理債権	銀行勘定	7	159	402
	信託勘定	8	102	124
		9	261	526
合計	銀行勘定	10	712	3,195
	信託勘定	11	244	293
		12	957	3,489
				4,069

（注）1. 平成16年12月末および平成15年12月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しています。集計方法については、それぞれの月末基準の自己査定結果を全て反映したものであり、決算（含む中間）時に開示する計数と同じです。

なお、上記債権は、取立不能見込額につき直接償却相当額を減額した後の残高を記載しています。

2. 上記以外の債権額は以下の通りです。

（単位：億円）

		平成16年12月末	平成16年9月末	平成15年12月末			
要管理先債権（9を含む）	銀行勘定	13	175	421			
	信託勘定	14	126	145			
	15	301	567	3,192			
その他要注意先債権	銀行勘定	16	2,830	2,725			
	信託勘定	17	359	356			
	18	3,190	3,082	292			
正常先債権	銀行勘定	19	21,744	24,306			
	信託勘定	20	5,201	5,453			
	21	26,946	29,760	3,484			
総与信額（=3+6+15+18+21）	銀行勘定	22	25,303	30,247			
	信託勘定	23	5,830	6,126			
	24	31,134	36,373	4,218			
不良債権比率（=12/24）				25	3.07%	9.59%	31,118
							8,052
							39,171
							10.38%

3. 自己資本比率（連結・国内基準）

（単位：億円）

		平成16年12月末 （概算値）	平成16年9月末	平成17年3月末 （予想値）
(1)自己資本比率	26	10.84%	8.82%	11%台半ば
(2)Tier	27	2,777	2,456	
(3)Tier（算入額）	28	1,432	1,458	
(4)控除項目	29	878	843	
(5)自己資本（2）+（3）-（4）	30	3,331	3,071	
(6)リスク・アセット等	31	30,733	34,807	

4. 時価のある有価証券の評価差額（単体合算）

（単位：億円）

		平成16年12月末				平成16年9月末				平成15年12月末			
		時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
			うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	1	18,722	69	533	463	19,740	49	579	530	18,604	316	572	888
株式	2	3,455	267	499	232	3,548	343	546	203	4,098	64	554	490
債券	3	13,871	88	26	114	14,840	118	29	147	13,571	231	4	236
その他	4	1,395	109	6	116	1,351	175	4	179	934	149	12	162

- （注） 1. 平成16年12月末および平成15年12月末の「評価差額」は、それぞれの月末時点の帳簿価額（償却原価法勘案後、減損相当額控除後）と時価との差額を計上しています。（株式の時価は主として(四半)期末前1ヵ月の市場価格の平均に基づいて算定された額を、また、それ以外については、(四半)期末日における市場価格等に基づく額を使用しています）
2. なお、時価のある満期保有目的の債券および時価のある子会社・関連会社株式は保有しておりません。

【うちUFJ信託銀行】

（単位：億円）

		平成16年12月末				平成16年9月末				平成15年12月末			
		時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
			うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	5	17,405	23	444	420	18,374	35	469	504	18,020	322	559	882
株式	6	2,138	221	411	189	2,182	258	436	177	3,514	57	541	484
債券	7	13,871	88	26	114	14,840	118	29	147	13,571	231	4	236
その他	8	1,395	109	6	116	1,351	175	4	179	934	149	12	162

- （注） 1. 平成16年12月末および平成15年12月末の「評価差額」は、それぞれの月末時点の帳簿価額（償却原価法勘案後、減損相当額控除後）と時価との差額を計上しています。（株式の時価は主として(四半)期末前1ヵ月の市場価格の平均に基づいて算定された額を、また、それ以外については、(四半)期末日における市場価格等に基づく額を使用しています）
2. なお、時価のある満期保有目的の債券および時価のある子会社・関連会社株式は保有しておりません。

5. 国内預金・国内貸出金の状況（単体）

（単位：億円）

		平成16年12月末	平成16年9月末	平成15年12月末
国内個人預金	9	19,684	20,420	21,793
うち流動性預金	10	3,864	3,824	3,820
うち定期性預金	11	15,724	16,488	17,893
国内法人預金	12	7,581	8,270	13,736
うち流動性預金	13	3,174	4,208	4,863
うち定期性預金	14	4,308	3,955	4,805
国内その他預金	15	850	1,418	647
うち流動性預金	16	70	38	128
うち定期性預金	17	759	847	494
信託元本	18	18,580	20,977	20,179
うち国内個人	19	7,475	7,817	9,208
うち国内法人	20	11,104	13,160	10,970
国内貸出金	21	30,370	35,536	37,876
銀行勘定	22	24,525	29,410	29,810
信託勘定	23	5,844	6,126	8,066

- （注） 1. 上記計数は日銀報告ベースで算出（除くオフショア勘定分）しています。
2. 国内その他預金には、地方公共団体等の公金預金や金融機関預金が含まれます。
3. 流動性預金 = 当座預金 + 普通預金 + 通知預金
定期性預金 = 定期預金
4. 「信託元本」および「国内貸出金」のうち「信託勘定」は、元本補てん契約のある合同運用指定金銭信託および貸付信託の合算です。

6. 信託財産残高表(単体)

(単位:億円)

科 目		平成16年12月末	平成16年9月末	平成15年12月末
貸 出 金	1	6,696	6,917	
有 価 証 券	2	132,976	131,045	
信 託 受 益 権	3	124,899	122,237	
受 託 有 価 証 券	4	4,675	4,368	
貸 付 有 価 証 券	5	9,461	9,812	
金 銭 債 権	6	30,899	30,093	
動 産 不 動 産	7	22,526	21,611	
地 上 権	8	109	109	
土 地 の 賃 借 権	9	259	222	
そ の 他 債 権	10	14,917	12,760	
コ ー ル オ ー ク	11	3,908	4,106	
銀 行 勘 定 貸 金	12	15,334	17,976	
現 金 預 け 金	13	6,936	9,377	
資 産 合 計	14	373,601	370,638	
金 銭 信 託	15	78,494	77,762	
年 金 信 託	16	42,747	45,637	
財 産 形 成 給 付 信 託	17	46	44	
貸 付 信 託	18	5,693	6,181	
投 資 信 託	19	124,643	122,026	
金 銭 信 託 以 外 の 金 銭 の 信 託	20	8,350	8,182	
有 価 証 券 の 信 託	21	29,482	28,565	
金 銭 債 権 の 信 託	22	31,047	30,463	
動 産 の 信 託	23	742	874	
土 地 及 び そ の 定 着 物 の 信 託	24	644	929	
土 地 の 賃 借 権 の 信 託	25	2	2	
包 括 信 託	26	51,706	49,968	
そ の 他 の 信 託	27	0	0	
負 債 合 計	28	373,601	370,638	

(注)信託財産には、UFJ信託銀行株式会社と日本マスタートラスト信託銀行株式会社が職務分担型共同受託方式により受託している信託財産(平成16年12月末113,427億円、平成16年9月末116,448億円)を含んでいます。